



CONTENTS

- * シンポジウム
- * カモミール月曆

- * キャリアパス支援講演会
- * 後期授業
- * 英語セミナー

- * 学童保育トライアル
- * 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



シンポジウム

申込
不要

研究力向上と地方創生 ～女性の「働く」を応援～

入場
無料

日時： 2017年 9月28日(木) 15:00～17:00
 場所： 岐阜女子大学 新4号館（5階）大ホール

基調講演 15:00～16:00

「社会と自然の基本は多様性」

黒木 登志夫 氏

日本学術振興会
 学術システム研究センター 顧問
 (WPIプログラムディレクター)



パネルディスカッション 16:10～17:00

「女性の「働く」を応援する - 「地方」を活かした研究力向上」

モデレーター

三輪 聖子 岐阜女子大学家政学部 教授

パネリスト

伊佐 保香 岐阜女子大学家政学部 講師

伊野 陽子 岐阜薬科大学薬局薬学研究室 講師

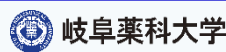
清島 真理子 岐阜大学大学院医学系研究科 教授

田澤 茂実 アピ(株)長良川リサーチセンター 研究員

託児室無料

※ 要申込 (9/11まで)

【主催】



【お問い合わせ先】 岐阜女子大学 ダイバーシティ推進室 〒501-2592 岐阜市太郎丸80番地
 TEL: 058-229-2211 (代) FAX: 058-229-2222 (担当: 三宅・三輪・松家)



カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長 (多様性人材活力推進担当) 林 正子

エルゼビア報告書『世界の研究環境におけるジェンダー』紹介

岐阜大学における文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の取り組みも3年目となり、女性研究者育成・支援事業についても、学内外の大勢の方々からさまざまのご支援ご協力をいただいているところです。今回は、福士秀人 理事・副学長(学術研究・情報担当)のご厚意を受け、情報部学術情報課よりご提供いただきましたエルゼビア社の報告書『世界の研究環境におけるジェンダー』について、その一部をご紹介します。

世界24カ国7,000人以上の社員を擁するエルゼビア(本社:オランダ・アムステルダム)が、世界最大級の論文抄録・引用文献データベースを駆使しての報告書『世界の研究環境におけるジェンダー』を発表しました。1996年から2000年までと2011年から2015年までの調査期間において、女性研究者比率がどのように変わったか、論文執筆数に男女差はあるか等々、多岐にわたるトピックについての分析が掲載されています。

オーストラリア、ブラジル、カナダ、デンマーク、EU(欧州連合)、フランス、ポルトガル、英国、米国(以上、女性研究者比率40%以上の国・地域)、チリ、メキシコ、日本が対象となった調査結果のうち、一般的な傾向として挙げられている事項は以下の通りです。(参照:【抄訳リリース】2017年3月13日 エルゼビア・ジャパン(株))

- 女性は一般的に男性よりも国際的な移動が少なく、研究論文で国際的に共同研究を行う可能性が低くなります。
- 医療・生命科学分野は女性の割合が最も高く、物理科学は男性が多数派を占めています。
- 学会と産業界にまたがる共同研究で論文を発表する可能性は、男性よりも女性の方がやや低くなっています。

国/地域別の2011年から2015年の調査期間における日本の調査結果としては、

- ◆ 日本では、研究者全体の5分の1が女性です。その割合は日本国内では増加傾向にありますが、20%では相対的には依然低いと言えます。
- ◆ 日本では、女性学者の論文のうち9%が学際的論文の上位10%に属します。これは男性(8%)よりもわずかに高い数値です。
- ◆ 日本の発明家に女性が占める割合は8%ですが、特許申請のうち、女性の特許出願の割合は2倍(16%)です。
- ◆ 日本の研究者に占める女性の割合を比較すると、日本から海外に出る女性の割合が高く、日本へ入ってくる女性は低くなっています。

人文社会系を含むデータベースにもとづいての分析では、日本の研究者が2011年から2015年に発表した論文数は、女性の方が男性より多く、世界的な傾向と逆転していることが報じられています。「日刊工業新聞」(2017年4月20日)には、「日本の女性研究者の“少数精鋭ぶり”がうかがえる」、「エルゼビアではこの結果を「日本では女性研究者のキャリア構築が他国より難しいだけに、生き残っている多くの人が有能なのではないか」とみている。」と記されています。

女性研究者のみならず、広く研究者の皆さん、研究者をめざす方々へのエールを趣旨として、ビッグデータにもとづく報告書の一部をご紹介します。

引き続き、さまざまな分野にわたる社会・組織全体の活性化に向けて、多くの方々に関心をもっていただける情報提供・意見交換を実現し、課題認識を共有するとともに、具体的な実践活動に繋げてゆきたいと願っています。皆さまのご支援、ご協力、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」



キャリアパス支援講演会

10/11(水)
13:00~14:30

ライフプランとキャリアを考えるーカルビー株式会社の例

講師:江木 忍氏(カルビー株式会社 人事総務本部 本部長)

場所: 全学共通教育棟1F 105講義室

お問い合わせは
男女共同参画推進室
まで

対象: ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)授業登録学生(必須)、その他
岐阜大学学生、岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アビ株式会社の構成員

後期授業ご案内

水曜1限

全学共通教育科目

～ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）～

平成29年度の本授業のテーマは、「大学生だから考えよう、ヒト（女）とヒト（男）の関係」です。「夫婦喧嘩は犬も食わない」や「結婚は人生の墓場」など、オンナとオトコの間をあらわす言葉はいっぱいありますが、「実際の男女関係」とはどうであるべきなのか、またどうあってほしいと考えるべきなのでしょう。「恋愛行動」の活発になる時期である大学生だからこそ、「自分たちのカタチ」についてこの授業で考えていきたいと思えます。

	開講日	タイトル	講師
第1回	10月4日	イントロダクション：現代日本社会における男女共同参画論の意義	相原 征代（男女共同参画推進室）
第2回	10月11日	ライフプランとキャリアを考えるーカルビー株式会社の例	江木 忍 （カルビー株式会社 人事総務本部 本部長）
第3回	10月18日	岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み	林 正子（副学長・男女共同参画推進室長）
第4回	10月25日	健康で充実した人生のための健康基礎知識	山本 真由美（大学保健管理センター長）
第5回	11月1日	「妊活」のすすめー子どもを持つことについて考えてみませんか	高橋 由起子（医学部 看護学科）
第6回	11月8日	女性のキャリアの現状ー看護職の例から	相原 征代（男女共同参画推進室）
第7回	11月15日	アメリカに見る男女関係（仮）	森田 浩之（医学部附属病院総合内科）
第8回	11月29日	「若い」についてー日本社会におけるジェンダー規範は、わたしに何を求めるのか	中山 佳子 （名古屋大学大学院人文学研究科人文学専攻）
第9回	12月6日	『リケダン』の『オトコもつらいよ』ー「共働きと共子育ての楽しさについて」	新村 昌治（工学部電気電子・情報工学科）
第10回	12月13日	デートDVー相談の現場から	寺松 みどり（岐阜市女性センター長）
第11回	12月20日	人間も動物？ 動物の『家族関係』について	椎名 貴彦（応用生物科学部共同獣医学科）
第12回	1月10日	13億人の中国における女性の役割と結婚をめぐる現状について	魏 永芬（流域圏科学研究センター）
第13回	1月17日	中国古典世界における男と女	松尾 幸忠（地域科学部地域文化学科）
第14回	1月24日	男女共同参画社会で「働く」ための就職活動セミナー	未定（教育推進・学生支援機構）
第15回	1月31日	男女共同参画社会の実現に向けて（まとめ）	相原 征代（男女共同参画推進室）

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



通訳者が教える『伝わる英語』セミナー



8月7日（月）に、岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社所属の男女研究者を対象として「通訳者が教える『伝わる英語』セミナー」を開催しました。

今回の講師は、サイマル・インターナショナルから現役通訳者を派遣してもらいました。日本語での発想を直訳するのではなく、より自然な英語表現を用いて、相手にいかに的確に「伝える」という観点から、ワークショップ形式で実施しました。受講した7名の教育職員からも「講師の経験に基づき、自分の英語の弱点・強みを指摘してもらえた。」と好評でした。



夏季休暇中の学童保育トライアル

今年の学童保育（カモミールこども大学）には、約25名の子どもたちの参加がありました。ポピンズ（株）の学童保育に加え、農場でのピザ・マヨネーズづくりや教育学部美術教育の辻泰秀先生による美術講座、さらに今年は、アピ株式会社からの「ミツバチ講座」や、岐阜女子大学の齋藤陽子先生と初等教育学専攻3年の学生によるイベントなど、盛りだくさんのメニューとなり、子どもたちは岐阜大学で夏休みを思いっきり楽しんでいました。

ポピンズ株式会社による学童保育プログラム



アピ株式会社によるミツバチ講座



岐阜フィールド科学教育研究センターでの農場見学～野菜収穫～ピザ・マヨネーズ作り



教育学部美術教育 辻泰秀先生による美術講座



岐阜女子大学 初等教育学専攻3年生と齋藤陽子先生とのスーパーボール・スライム作り～色かえゲーム



保育園たより

夏祭り

8月10日（木）外でかき氷を食べた後、グループごとに部屋を入れ代わり、魚釣りやくじ引きなどをして楽しく過ごしました。

